



マネジメント
報告

CSR課題・実績と目標

大和証券グループが行う、持続可能な社会の構築に向けたさまざまな取組みについて、2007年度の実績とともに2008年度の目標を開示します。

		2007年度の課題・目標	目標の達成度	参照ページ
重要課題① 投資に社会的視点を	SRIの普及促進		○	11-16
	社会的視点に立った投資に関する情報提供を拡充		○	
重要課題② 健全な証券市場の発展に向けた取組み	コンプライアンス参照			17-18
重要課題③ 地球環境への取組み	投資家が環境問題の解決に参加できるような金融商品の開発を検討		○	19-20
	環境マネジメントシステムの主要海外拠点への拡大		△	
	適切な温度調整、帳票類電子化等による環境負荷の低減		◎	
	本社ビル移転における「廃棄ゼロ」の達成		—*	
重要課題④ 持続可能な社会に向けた情報発信	サステナビリティに関する啓発活動を強化		○	21-24
	中学・高等学校の生徒を対象とする経済・金融教育の取組みを推進		○	
コーポレート・ガバナンス	内部統制報告制度の適用初年度である2008年度に向け、文書化および検証作業を行う		○	27-28
	新規ビジネスにおける体制整備		○	
	事業継続計画 (BCP) のさらなる推進		◎	
CSRマネジメント		「重要課題」参照		29-30
コンプライアンス	グループ全体	グループ各社への「企業倫理、コンプライアンス意識」の醸成	◎	31-32
		反社会的勢力への対応強化	○	
	大和証券	金融商品取引法、金融商品販売法等の改正に伴う諸体制の構築	◎	
		簡素化・合理化を含めた社内ルールの見直し	◎	
		顧客管理体制・営業員管理体制の強化	○	
	大和証券 SMBC	金融商品取引法、金融商品販売法等の改正に伴う諸体制の構築	◎	
		情報管理を厳格化し、特に個人情報、個人データの漏洩未然防止体制の定着	◎	
外国為替法令に係るコンプライアンス体制の強化		◎		
リスク管理体制の高度化への対応		○		
情報開示 (ディスクロージャー)	非財務情報の開示強化		○	33-34
	個人投資家向けIR活動のさらなる強化		◎	
お客様満足への取組み	アフターフォローへの積極的な取組み (継続)		○	35-36
	従業員のスキルアップ		○	
	店頭従業員のお客様対応スキルアップ		○	
人の尊重と人材の活用	社内活性化策のさらなる推進		◎	37-42
	アナリスト資格・CFP資格取得者の拡大を目指した教育・研修体制の強化 (継続)		◎	
	女性が働きやすい環境整備の継続		◎	
企業市民としての取組み	各種助成プログラム等の活用による社会福祉への貢献		○	43-46
	より多くの役職員が参加できるボランティア・プログラムの充実 (継続)		○	
大和証券グループの環境負荷		「重要課題③ 地球環境への取組み」参照		47-48

2008年度の課題・目標

SRI、社会的視点を持った金融商品の開発・普及の推進
社会的視点に立った投資に関する情報提供を拡充(継続)
コンプライアンス参照
役職員の地球環境問題に対する意識の高揚
適切な温度設定、紙の削減等による環境負荷の低減
本社ビル移転に際して発生した什器等のリユース・リサイクル推進
ウェブサイトにおけるサステナビリティ情報発信の拡充
経済・金融教育の取り組みの充実・推進
内部統制を評価する体制の確立
新規ビジネスにおける体制整備を含めた、グループ経営体制の整備・充実
BCP (Business Continuity Plan:事業継続計画)の推進
ステークホルダーとの対話を促進
役職員のCSR意識の向上
社内の関連部署の連携強化
全社におけるコンプライアンス研修の徹底
反社会的勢力排除体制の強化
内部管理体制の強化
システム、ITによる内部管理体制の高密度化
不正取引監視体制の強化
「金融商品取引業者等向けの総合的な監督指針」の対応のための体制整備
金融商品取引法を踏まえた新たなリスク管理の実施
情報管理体制の強化
IRツールの拡充および有効活用
効果的な個人投資家向けIRの実施
非財務情報の開示強化(継続)
アフターフォローへの積極的な取り組み(継続)
従業員のスキルアップ(継続)
店頭従業員のお客様対応スキルアップ(継続)
一人ひとりの働き方の見直し(年次有給休暇の取得促進等)
育児を通じた従業員の意識改革(男性従業員の育児休職取得促進等)
障がい者の正社員登用の継続
役職員がボランティアに参加しやすい環境づくりの推進
ボランティアの取り組み内容等の社内情報発信
「重要課題③ 地球環境への取り組み」参照

*一部集計が未了となっているため、次回持続可能性報告書にて詳細をご報告させていただきます。

2007年度の課題・実績と
2008年度の目標

■2007年度の実績と評価

各部門の「課題・実績」として2007年度の取り組み実績および2008年度の課題・目標を一覧にしています。目標の達成度は大和証券グループの自己評価を記載しています。

■2008年度の目標

2007年度の実績と評価を踏まえ、各課題に沿って大和証券グループの2008年度の目標を掲げています。グループ各社・各部門の連携のもと、これらの目標の実践および達成を目指すことが、各ステークホルダーに対する価値の最大化に結びつくものとしています。

取り組みの評価

- ◎：目標の実現に向けて大きな成果の得られたもの
- ：目標の実現に向けて成果の得られたもの
- △：実施してさらに成果をあげる必要のあるもの
- ×：実施できなかったもの